
桜と君と僕と。

小野葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜と君と僕と。

【Nコード】

N0449I

【作者名】

小野葉

【あらすじ】

いろいろなポエム的なものを合わせたやつです。『桜と君と僕と。』は、病気を背負った少年の恋です。

桜と君と僕と。(前書き)

次回の投稿は、11時ごろになると思います。遅れた場合はすみません。なお、次回予告は、あとがきに書いてあります。

桜と君と僕と。

桜と君と僕と。

全て

…全て分かっていた。

僕の命がそう長くもたない事も…。

君とこうして

桜を見られるのは

あと何回だろうか？

もしかしたら

これが最後の桜かもしれない。

それでもいい。

君とこうして

一緒に居られた時間が、

君に出会えた事が

僕の幸せだったから。

僕の体が

ゆったりと

傾いていく。

桜の花と一緒に

儚く

僕の命は

散った。

君への思いだけを
残してー…。

桜と君と僕と。 (後書き)

次回は、『白い道化と愚かな道化』です。

桜とアナタと私。(前書き)

予告より大幅におくれてしまいました。

すいません!!!!!!

しかも、予告とは違うものになってしまいました!!

桜とアナタと私。

君の命が長くない事は知ってた。

でも、

アナタを

愛してたから：

愛してるから、

知らないふりをしていた。

現実を受け入れられなかった。

現実を受け入れたくなかった。

桜の花びらがヒラヒラと散っていく中で、
アナタの体が傾いていく。

「ーーーーっ!!」

私は

声にならない叫び声を

あげて、
涙を流す。

支えを無くして
倒れたアナタを
とっさに受け止める私。アナタは、
涙が伝っている私の頬に触れる。

そして、
小さくアナタが
唇だけを動かした。

「そんなの……そんなのズルいよ……。最後にそんな事言うなんて
……」

だから桜は嫌いだった。

少しの間だけ
綺麗に咲き誇るけど、

すぐに儚く散ってしまう。

そんなの…

悲しすぎるよ……。

アナタの死を受け入れきれずに、
たくさん泣いた。

子供みたいに
しゃくりを上げて。

愛してる……。。

愛してるよ……。。

永遠にアナタを忘れない。

待ってて……。

アナタの傍に、

隣に、

すぐに行くから……。

私の体がアナタの骸に重なった。

私も最後にアナタと同じ言葉を口にする。

そして、

散った桜は

残酷なまでに

赤く赤く

血に染まった。

『愛してる、永久にアナタを……』

桜とアナタと私。(後書き)

彼の後を追って死んだ彼女はアナタの目にはどう映りましたか？
愚かだと思えますか？

でも小野葉は、こういう終わり方も良いと思います。

恋愛は儚いからこそ美しい…。

アナタはどう思いますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0449i/>

桜と君と僕と。

2010年10月9日04時39分発行